

聯合國軍最高司令部官總司令部發第三五〇號（民間情報教育部）

昭和二十一年一月九日

日本政府宛覺書

終戰連絡中央事務局經由

高級參謀副官補 陸軍大佐 アレン

日本教育家ノ委員會ニ請スル件

1. 當司令部ハ二月到著ノ豫定ニテハ二十名ノ著名ナルアメリカ教育家ニリナル教育使節團ノ派遣方ヲ要請セリ
2. 該教育使節團ハ大凡三十日ニ亘リ日本教育制度ヲ研究シ技術上ノ事項ニツキ聯合國軍最高司令部官並ニ日本文部省ニ對シ助言ヲナス豫定ナリ
3. 該使節團ハ左記問題ヲ研究シノ使命ノ完了ト共ニ最高司令部官宛報告書並ニ勸告書ヲ提出スヘシ

A 「日本ニ於ケル民主主義教育」學科目、學科課程、教科書、教師用參考書並ニ映畫、ラヂオ等ニヨル（視覺、聽覺的）補助教育等ニ關

スル獻策ヲ目的トスル研究

B 「日本ノ再教育ノ心理的部面」教育方法論、言語ノ改革、時宜ヲ失セズ且優先的ニ實施セラレヘギ教育刷新、學生生徒ノ創意ト批判的分析ノ發展並ニ教員ノ再教育等ニ關スル獻策ヲ目的トスル研究

C 「日本教育制度ノ行政的再建」即時且廣範圍ニ且ル行政的刷新文部省ノ再編成並ニ地方分權ノ問題ニ關スル獻策ヲ目的トスル研究

D 「日本復興ニ於ケル高等教育」圖書館、記録館、官所、學術研究所、博物館等ノ高等教育ニ於ケル利用、學生生徒ニ對シ教職員ノ自由、社會科學ノ再出發並ニ社會生活、國家生活ニ對シル一層活潑ナル參與等ニ關スル獻策ヲ目的トスル研究

4. 該使節團ハ日本文部省並ニ自治的教育機關ヲ援助スルタメ題材ニ關スル技術專門家ヲ推薦スルコトヲモ要請セラルルナリ

5. 教育使節團ノ仕事ヲ容易ナラシメ且ツ使節團ノ研究ト發見ヨリ日本ノ教育制度ガ最大限ノ利益ヲ享ケンガ爲メニ左ノ提案ヲ爲ス

山崎 103



- A 文部省ハ使節團ニ協力スヘキ極メテ堪能ナル日本教育家ノ委員會ヲ任命スベキコト
- B 該委員會ハ十八名ヨリ少カラズ二十五名ヨリ多カラザル委員ヨリ構成セラルルコト
- C 該委員會ノ委員選擇ニ當リテ、該委員ガ第三項ニ示セル諸問題ノ研究ニ使節團ヲ援助シ得ル資格ヲ有スベキコトヲ特ニ留意シテ選擇スベキコト
- D 委員會ノ委員資格ハ(一)教授及ビ教育行政ノ各分野ト(二)夫々異リタル程度ト種類ノ各教育機關ヲ代表スベキコト
- E 該委員會ノ委員ニ擬セラレタル教育家ノ氏名ハ第三項ニ記載セル諸問題ノ研究對當豫定ト共ニ本年一月二十日迄ニ民間情報部教育班ニ提出スベキコト
- F 該委員候補者ノ氏名ニハソノ年齢、教育的背景、過去現在ノ地位及ビ若アラバ著述専門諸機關ノ會員タル資格ノ有無、學位其ノ他ノ榮譽的稱號及ビ使節團ニ興味ト價値アルベキ關係事項ヲ添付スベキコト
- G 該委員會ハ本司令部及ビ文部省ニ使節團ノ目的及ビ委員會ニ望ム所ノ種類ニツキ説明スルニ充分間ニ合フ後任命招集スベキコト
- H 該委員會ハ將來必要ト考ヘラルル實業界職能界ヨリ選出セラルベキ委員ヲ加ヘテ日本教育ノ革新ニツキ文部省ニ建言スベキ常任委員會タルベキコト
- I 委員會ハ使節團ノ退去後第三項ニ記述セル問題ノ研究ヲ繼續シ文部省ハ民間情報部教育班ニ對シテ研究ノ結果並ニ獻策ニツキ定期報告ヲナスベキコト